**様　　シックディの糖尿病薬の調整について**

糖尿病で治療中に発熱、下痢、嘔吐、食欲不振などでいつも通り食事ができない時を『シックディ』といいます。このような状態ではいつも通りに薬を飲んだり、インスリンを注射すると低血糖が起こることがあるので下記のように調整してください。また、『シックディ』の時は飲み薬やインスリンの効きが悪くなり高血糖にもなりやすいので、改善がない場合は早めに受診してください。

* 飲み薬

⇒　中止してください。

* インスリン
1. はいつも通り注射してください
2. は食後に食べた量で調整してください。

**食事が半分以上の時　⇒　いつもの量**

　　　　朝 昼　　　　　　　　　　夕

**食事が半分未満の時　⇒　半分の量**

　　　　朝　　　　　　　　　　昼　　　　　　　　　　夕

* GLP-1受容体作動薬

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　は中止してください。

* 注意していただきたいことなど

**患者さんにお渡しいただくにあたって（医療関係者様）**

シックディで食事が通常通り摂取できないときの半日～1日の調整目安です。日常の診療時に糖尿病薬の調整につきご指導お願いいたします。また、実際にシックディの状態になるとインスリン抵抗性が増し高血糖にもなりやすいので、受診時の血糖値、SMBG値などを参考に調整お願いします。

また、重症低血糖で搬送される例は認知症を合併している症例も多くみられます。認知症が疑われる場合にはご家族のかたへのご指導もよろしくお願いいたします。

**記入方法**

◆飲み薬

[ ]の中に使用中の経口血糖降下薬をご記入ください

基本的にはすべての糖尿病薬ですが、DPP４阻害薬単独では低血糖になりにく

いので継続も可能です。

　◆インスリン

1. には使用中の持効型、中間型インスリンの名前をご記入ください
2. には使用中の超速効型、速効型、混合型インスリンの名前をご記入ください。

□の中には指示単位数をご記入ください

　　　◆注意していただきたいことなど

　　　　　　ご指示があればご記入ください

糖尿病のよりよい連携医療をめざす会 2018年6月作成